三好町消防団

ふるさと三好を守る

もし万一火災を発見したとき、皆さんに真っ先に行ってもらいたいこと…それは１１９番通報（※）です。皆さんからの通報を受けると、直近の消防署から消防車が出動し、緊急事態を伝えるサイレンを鳴らしながら現場へ急行。消防士は消火活動に全力を注ぎます。

こうした三好町の消防活動を支えるのが、三好町・日進市・東郷町の３市町を管轄区域とする尾三消防組合、そして地元の消火・防災活動に力を尽くす三好町消防団の皆さんです。

今回の特集では、三好（ふるさと）の安全を守る三好町消防団の活動を紹介します。

※消防署では家庭用電話からの通報ならば、同時にその位置が地図に表示される「発信地表示システム」を導入していますので、通報はできるだけ家庭用電話からお願いします。

防
htting
火

Fire Fig

三好町内には現在、尾三消防本部三好消防署（福谷地内）と尾三消防本部三好消防署三好南出張所（明知地内）の2つの消防拠点があり、24時間体制で火災や救急に備えています。

万一火災が発生した場合、尾三消防本部の消防隊が早急に現場に駆けつけ、消火活動を行います。この消火活動を円滑に行うために、例えば現場付近の道路の通行止めや通行車両の交通整理を行って消防隊の活動を支援したり、消火用の水が不足するような事態が起きたときに、遠く離れた水利から消火用の水を尾三消防本部のタンク車に送り込んだりして、消火活動の後方支援を行う人たち…それが三好町消防団です。

特に建物火災など、地域住民に大きな影響を及ぼす火災では、消防隊が消火活動を終えて帰った後も、見張り番として火災現場に残り、残火処理や再燃防止のために警戒するなど、三好町消防団は重要な役割を担っています。

消防団の役割は、主に火災時の尾三消防本部の後方支援。しかし例えば阪神・淡路大震災のような地震災害時に起こる大火災では、消防団自らの消火活動が必要不可欠となります。また大規模災害が発生した場合、被災地域の住民の避難誘導など、消防団には新たな役割が増えるのです。

東海・東南海地震など大規模災害の発生が予測される今、三好（ふるさと）の安全を守る消防団の必要性、重要性がますます高まっています。

消防団とは？

WHAT IS "FIREMAN"?

■消防団員の身分

消防団員は、非※常勤特別職の地方公務員であり、消防団長から任命されます。また消防団への入・退団は自由であり義務、または強制されることはありません。ただし、団員としてふさわしくない非行があったときなどには、行政処分で免職になることがあります。

■消防団員の待遇

団員には階級に応じた年額報酬が支給されるほか、災害活動、または訓練に出動した際の出動手当が支給されます。また公務災害補償、退職報償金、被服の貸与、表彰制度などの待遇があります。

■地域社会に奉仕する消防団

消防団は、郷土愛護の精神を基調としています。この「自らの郷土は自らが守る」という精神は、江戸時代から伝え引き継がれたものであり現在でもなんら変わりはありません。

消防団の活動は、地域社会に奉仕し、その対価を求めないもの。それゆえに地域住民から愛され、親しまれ、そして信頼されてきました。

■三好町消防団の組織

三好町消防団は、消防団長1人、消防副団長2人を筆頭に置き、その指揮下には新屋、三好上、三好下、西一色、福田、明知上、明知下、打越、莇生、福谷、黒笹、東山、高嶺の13分団、これに女性消防団を合わせた14の分団があります。

女性消防団を除く各分団は、それぞれ管轄区域（左ページ分団管轄図参照）を持ち、分団員は、主にその管轄区域の住民、または在勤の人で構成されています。

また女性消防団は、各行政区から2人ずつ選出された団員で構成された全町的に活動する分団です。

※消防本部などの職員は常勤の地方公務員ですが、消防団員はほかに職業や学業を持つ非常勤特別職の地方公務員です。

三好町消防団 分団管轄図

●…各分団の詰所

三好町消防団長
山田　隆司（たかし）さん
（明知上）

災害が起きたときに、地域防災の先頭に立って活動する、それがわれわれ三好町消防団の役目です。災害現場に真っ先に行く立場であるため、地域を、そして自分自身を守るために、日ごろから訓練に励んでいます。

今後は大規模な災害に備え、地域住民の皆さんと連携した防災活動が必要になります。消防団の活動が地域防災につながり、また団員と地域とのコミュニケーションが図れるような、地域に根差した活動をしていきたいと思います。

消防団の活動内容

WHAT IS FIREMAN'S JOB?

消防団の活動

消防団は火災の時だけ活動するわけではありません。大雨や台風などの風水害の際には、災害現場へ出動し、土のう積みや倒木の処理をしたり、冠水した道路などに一般車両が入らないように、自動車を誘導したりして、被災を最小限にするように尽力します。

また災害時だけでなく、例えば行方不明者の捜索なども、依頼があれば地域住民の皆さんと一緒に実施します。

消防団の訓練

火災や水害などの災害が起きたときに円滑な防災活動ができるように、消防団では年間を通じてさまざまな訓練を行っています。

まず春から夏にかけては、新入団員を迎え、消防団員として必要な技術を習得するために、主に災害対応訓練を行います。またこの時期に三好町が主催する、大規模災害を想定して行われる水防訓練や防災訓練にも参加。土のう積み工法訓練や消火訓練で技術を高めるだけでなく、その訓練に参加する地域住民とのコミュニケーションを図り住民の防災意識を高めます。さらに9月には各分団が持つ消防ポンプを使って消防技術を競う消防操法大会が実施されます。このため、各分団では5月ごろから大会に向けた厳しい訓練を続けます。

火災が発生しやすくなる秋から冬にかけては、11月、年末、3月に火災予防の啓発を展開し、巡回パトロール夜警なども実施します。

さまざまな活動を行う三好町消防団。次ページからは、消防団の昨年1年間の活動を写真で振り返りながら紹介します。

【3月】
三好町消防団任命式および消防訓練
【4月】
女性消防団総会
【5月】
総合訓練
三好町水防訓練
【6月】
消防操法合同訓練
安全なまちづくり推進大会

FLOOD DRILL

【三好町水防訓練】
①②本番さながらの土のう積み工法訓練
③災害対策本部長（町長）から訓示を受ける団員たち

東海集中豪雨を振り返って…
（平成13年9月）

東海集中豪雨で土砂災害に遭われた
鈴木　紀市（きいち）さん
ミサ子さん
（福谷）

朝起きると裏山に面する家の壁に土砂が積もり、完全に通路をふさいでしまっていました。その高さは１m以上。小雨が降り続き、今にも次の土砂が崩れてくるかもしれないと、本当に恐ろしかったです。わたしたちではとても運びきれない土砂の量でしたが、消防団や地域の皆さんのおかげで、土砂をのけることができました。１日中、泥だらけになって働いてくださった消防団の皆さんには、感謝してもしつくせません。

三好町消防団福谷分団長
職業：製造業
奥村　祐右（ゆうすけ）さん
（福谷）

2000年９月に起きた東海集中豪雨。あのすさまじさは今でも鮮明に覚えています。強い雨が降り続く中、出動がかかり災害現場へ。道路はあちこちが冠水し、大変な状況でした。鈴木さん宅へ向かったのは翌日午前。裏山の土砂崩れにより家の壁に堆積した１m を超える土砂を、近所の皆さんと力を合わせて、１日かけて搬出しました。災害が起きたときの、地域の皆さんとの連携の大切さを痛感しました。

【三好町消防操法大会】
④２線放水により見事標的（火点）に命中
⑤緊迫した中で実施されたポンプ車操法
⑥見事総合優勝した福田分団
【年末夜警】
⑦夜警巡回で防火や防犯を啓発

DISASTER PREVENTION

三好町消防操法大会総合優勝
三好町消防団福田分団長
職業：建設業
松浦　敏明（としあき）さん
（福田）

過去にも消防操法大会で優勝経験のある福田分団の伝統を守るため、団員一丸となり「やってやろう」という意気込みで大会に臨みました。今年度は操法への訓練に励むだけでなく、ゴミゼロや地域の安全を守る活動にも積極的に参加し、地域貢献に努めました。わたしたち地元消防団は地域の皆さんにとって「顔の見える存在」でなければなりません。今後も地域活動に参加しながら、訓練に励みたいと思います。

7～12月の主な活動

【7・8月】
三好３大夏まつりの警備
各地区防災訓練
【9月】
三好町消防操法大会
【10月】
女性消防団員活性化全国大会
【11月】
秋季火災予防運動
防火訪問
【12月】
年末夜警・防火パトロール

1～3月の主な活動

【1月】
出初・観閲式
文化財防火訓練
【2月】
女性消防団研修会
【3月】
春の火災予防運動・防火パトロール

元三好町消防団長
鈴木　伸明（のぶあき）さん
（打越）

消防団の活動で忘れられない出来事は、防火パトロールの最中に火災現場に遭遇したことです。火災といえば15 年ほど前に、自分の工場の建物が全焼する火災が起きたのですが、その時には地元消防団がいち早く駆けつけ、消火活動に力を尽くしてくれました。火災が起きたとき大切なのは初期消火。それを誰より早く行えるのは地元消防団しかいません。消防団あってこその地元の防災だと、痛感する出来事でした。

INSPECTION

【三好町消防団出初・観閲式】
⑧年始めの放水訓練
⑨観閲により士気を高める団員たち

女性消防団の役割

FEMALE'S FIRE FIGHT

■女性消防団の役割・活動

女性消防団員は、男性の団員と役割が異なり、災害現場に出動するのではなく、火災予防の指導や啓発、広報活動などを目的に活動します。

主な活動としては、毎月19日に女性消防団が持つ車両で火災予防広報を行うほか、6月の水防訓練や9月の三好町消防操法大会などでの炊き出し訓練、各家庭を訪問しての防火診断および火災予防指導を行っています。

また今年度は、昨年11月に三好町が主催した「産業フェスタ」の会場で、防災の啓発活動を行いました。

■女性消防団の取り組み

女性消防団が積極的に取り組んでいること、それは救命技術の修得です。

毎年、年度始めに一年の活動計画を立てる女性消防団のスケジュールには、常に研修会や講習会の予定が入っています。まず尾三消防本部三好消防署で行われる普通救命講習は毎年受講。これ以外にも、応急手当普及員や防災ボランティアコーディネーターの養成講座を受講するなどして、万一の災害に備え、消防団を退団した後も、何らかの形で地域に貢献できるような資格を身につけるように取り組んでいます。

三好町女性消防団団長
職業：自営業
鈴木　園子（そのこ）さん
（三好丘桜）

わたしたち女性消防団は、消火活動などの現場訓練はほとんど行いません。その代わりに、町民の皆さんへ防火・防災の啓発を積極的に行うほか、万一の災害に備えて、救命技術の習得、また新たな取り組みとして被災者とボランティアの調整役となる防災ボランティアコーディネーターの資格を習得しました。この女性消防団の活動が、今後いつ起こるか分からない災害時に生かせればと思います。

①防災ボランティアコーディネーター養成講座を受講
②消防操法大会での炊き出し訓練

団員募集

時代の移り変わりとともに、三好町を取り巻く環境も大きく変化してきました。

農業や自営業といった地元地域で働く人が少なくなり、就業形態のサラリーマン化が進む現在、時間的な制限、またボランティアに近い処遇である消防団への入団が敬遠されがちになっています。

万一の災害に備え「自分の地域は自分で守る」ために、一緒に消防団活動に参加してみませんか。皆さんの入団をお待ちしています。

▶入団資格＝町内在住、または在勤で 18 歳以上の健康な人

▶申し込み＝防災安全課へ電話、または直接

▼問い合わせ＝防災安全課
☎(32)8046
FAX(32)2165

④

③

③防災訓練に参加
④水防訓練での炊き出し訓練

■平成18年度三好町消防団の活動予定

実施日	行事内容
4月2日(日)	三好町消防団任命式および消防訓練
4月中旬	女性消防団総会
5月14日(日)	三好町消防団総合訓練
5月28日(日)	三好町水防訓練
6月10日(土)	安全なまちづくり推進大会
8月上旬	三好池まつり警備
8月下旬	三好いいじゃんまつり・大提灯まつり警備
8月27日(日)	三好町防災訓練
9月3日(日)	三好町消防操法大会
11月1日(水)～2日(木)	全国女性消防団員活性化大会
11月12日(日)	豊田加茂地区消防大会
11月9日(木)～15日(水)	秋の火災予防運動
12月25日(月)～26日(火)	年末夜警・防火パトロール
平成19年1月14日(日)	三好町消防団出初・観閲式
平成19年1月下旬	文化財防火訓練
平成19年3月1日(木)～7日(水)	春の火災予防運動
平成19年3月中旬	女性消防団臨時総会

■結びに

「地域の安全は自分たちで守る」。管轄地域からの有志で構成される地元消防団こそ、その最たる存在ではないでしょうか。

万一火災が起きてしまったら、大雨による土砂崩れが起きてしまったら…そんなとき、いち早く現場に駆けつけ、救助活動を行う消防団の皆さんの活躍なくして、被害を最小限にとどめることはできません。

いつ起こるか分からない「災害」に備え、訓練を続ける三好町消防団。わたしたちも万一災害が起きたとき、消防団の活動に協力できるように、日ごろから防火・防災意識を高めたいものです。